



和光市議会議員

平成 29 年第 1 号

すがわら満 議会報告

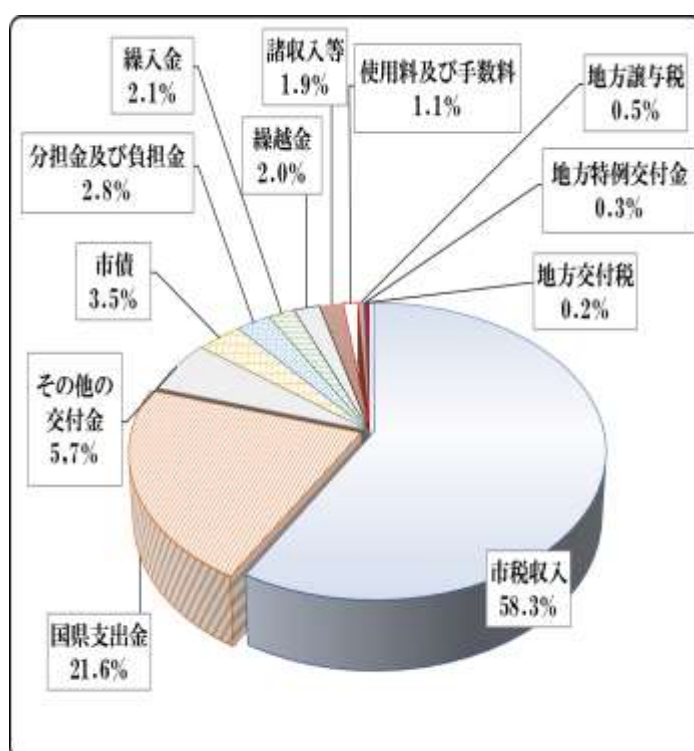
◇平成 29 年度当初予算の概要◇

平成 29 年度予算が定例議会で可決されました。福祉、教育、建設などの一般会計は 245 億 3,500 万円となっています。なお、国民健康保険特別会計は、平成 30 年度から都道府県単位となります。

平成29年度各会計当初予算の状況

		平成28年度	平成29年度	増減額	増減率
一 般 会 計		24,525,000	24,535,000	10,000	0.04
特別会計	国民健康保険特別会計	7,842,075	7,976,213	134,138	1.71
	後期高齢者医療特別会計	653,503	675,565	22,062	3.38
	介護保険特別会計	3,278,529	3,445,272	166,743	5.09
	和光市駅北口土地区画整理事業	804,695	1,152,293	347,598	43.20
	特別会計合計	12,578,802	13,249,343	670,541	5.33
一 般 会 計 と 特 別 会 計 の 合 計		37,103,802	37,784,343	680,541	1.83
水道事業	収益的収入	1,512,764	1,482,887	△ 29,877	△ 1.97
	収益的支出	1,260,138	1,300,841	40,703	3.23
	資本的収入	21,805	9,082	△ 12,723	△ 58.35
	資本的支出	934,019	399,769	△ 534,250	△ 57.20
下水道事業	収益的収入	1,138,446	1,142,639	4,193	0.37
	収益的支出	1,030,280	1,041,065	10,785	1.05
	資本的収入	302,174	127,262	△ 174,912	△ 57.88
	資本的支出	717,114	535,927	△ 181,187	△ 25.27

(単位：円、%)



【一般会計 歳入の状況】

左のグラフは、一般会計の歳入の割合を示したものです。

市税収入 58.3%、国県からの負担金や補助金など 21.6%、地方消費税や地方譲与税など交付金が 5.7%、市債が 3.5%、保育料や施設利用料など分担金及び負担金が 2.8%などとなっています。歳入額については、次ページの表のようになっており、市税をみると平成 28 年度より約 2 億 4,940 万円増を見込んでいます。

【一般会計 歳出の状況】

歳出をみると、民生費 48.4%、土木費 12.6%、総務費 11.4%、教育費 8.3%、公債費 6.8%などとなっています。

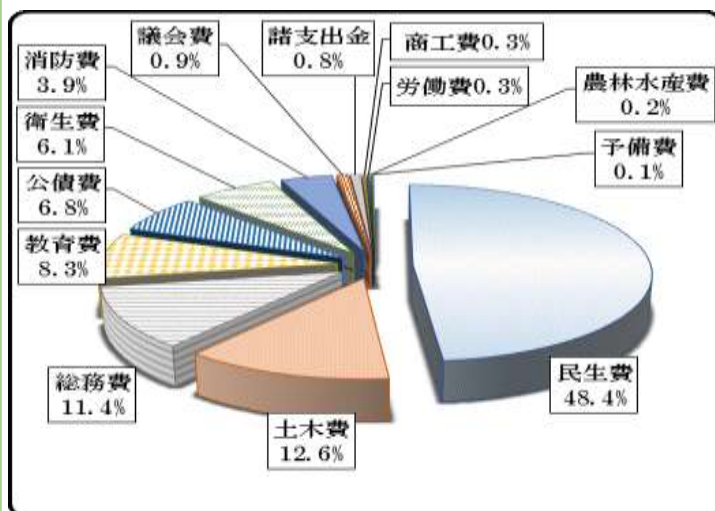
歳出額では、民生費 118 億 7,721 万円、土木費 30 億 9,143 万 8 千円、総務費 27 億 8,503 万 2 千円、教育費 20 億 3,023 万 9 千円、議会費は 2 億 1,753 万 7 千円などとなっています。

なお、民生費のうち、児童福祉費（保育、児童手当、乳幼児・子ども医療費など）が 61 億 8,801 万 8 千円、社会福祉費（障害者福祉、高齢者医療、国保・後期・介護への繰出金など）が 40 億 5,181 万 4 千円、生活保護費（生活保護扶助費、生活困窮者自立促進など）16 億

(単位：千円、%)		
	予算額	割合
市 税 収 入	14,302,570	58.3
国 県 支 出 金	5,289,127	21.6
そ の 他 の 交 付 金	1,397,758	5.7
市 債	869,200	3.5
分 担 金 及 び 負 担 金	683,205	2.8
繰 入 金	513,039	2.1
繰 越 金	500,000	2.0
諸 収 入 等	468,224	1.9
使用料及び手数料	281,877	1.1
地 方 譲 与 税	112,000	0.5
地 方 特 例 交 付 金	68,000	0.3
地 方 交 付 税	50,000	0.2
歳 入 合 計	24,535,000	—

227 万 4 千円となっています。

歳出の内容をみると、人件費や公債費といった義務的支出以外でも、経常的に支出しなければならない準義務的という内容で、今後のごみ処理施設更新、公共施設の維持更新を見越した財政運営が肝要と考えます。



◇一般会計と特別会計の関係をみると・・・◇

◆平成29年度一般・特別会計純計 (単位：千円)						
	単純総計 歳入歳出	繰入金	繰出金	純計 歳入	純計 歳出	純計 歳入－歳出
一 般 会 計	24,535,000	1	1,919,750	24,534,999	22,615,250	1,919,749
国 民 健 康 保 険	7,976,213	725,914	0	7,250,299	7,976,213	△ 725,914
後 期 高 齢 者 医 療	675,565	82,063	1	593,502	675,564	△ 82,062
介 護 保 険	3,445,272	615,582	0	2,829,690	3,445,272	△ 615,582
和光市駅北口土地区画整理	1,152,293	496,191	0	656,102	1,152,293	△ 496,191
一般・特別会計合計	37,784,343	-	-	35,864,592	35,864,592	-
一般会計 (純計後歳出－下水道繰出金)	-	-	-	-	22,224,639	-
下水道事業会計 (企業会計)	-	390,611	-	-	-	-

※一般会計は、24,535,000千円だが、実際の一般会計として使える金額は、22,224,639千円となる。

一般会計と特別会計の間では、法律などで決められたものも含め、繰入金繰入金により財源調整をしています。この調整を考慮すると、一般会計としての実質額(自主財源・依存財源含めて。)は、222 億 2,463 万 9 千円です。特別会計は、一般会計からの繰入金で収支を調整していることになります。この他、一般会計には、負担金として支出しなければならないものもあり、この点を踏まえた財政運営を考えることが大切です。